皇紀二千六百年祝典 總裁宮奉戴式

四月十日神宮外苑で

【東京電話】皇紀二千六百年を二年後に控へて紀元二千六百年奉祝會では支那事變の如何に拘らずわが皇威を普く中外に洽からせ國民精神總動員に資するため萬國博覽會を開催するほか各種の記念事業を擧行することに決定それ〴〵準備を進めてゐるが奉祝會の總裁には昨年七月秩父宮殿下を推戴するに決し既に勅許を經てゐるので愈よ來る四月十日午後一時（當日雨天ならば十七日）から明治神宮外苑競技場において秩父宮殿下の台臨を仰ぎ記念事業關係者・各團體・學校代表者等數萬人が參列して盛んな奉戴式を擧行することとなつた

勇士遺家族 醫療

日赤で千名突破

支那事變の勃發した昨年七月以來赤十字朝鮮本部が行つた應召軍人遺家族に對する軍事扶助の醫療救護は本年二月まで八ヶ月間に患者實數千百二十六人、八千三百九十二圓七十七錢に達した、事變以來各種の軍事扶助は着々實施されて應召將兵が後顧の憂なく十分の活動が出來るやう種々の施設が講じられてゐるが、その一つである勇士遺家族の醫療事業は無料乃至は半額として各病院とも犧牲的な診療奉仕を行つてゐるが實際には其本來の使命と遺憾のない氣持から患者は殆ど赤十字病院を訪れるので赤十字では勇士遺家族の病氣は完全に一手に引受けた形で施療九百七十三名六千八十二圓一錢、輕費百二十五名千二百七十八圓三十五錢、これに助産入院十八名千三十二圓四十錢が加はつて八千四百圓の多額に達したもので、赤十字では愈々報國の使命に茲々盡忠の決意を強めてゐる

勇士の内縁の妻へ扶助徹底

名譽ある出征軍人または戰死傷軍人の妻でありながら現行戶籍法或は他の事情で、內緣の妻であるため軍事扶助法の扶助も受けられず困難な生活を營んでゐる人々に對しては從來軍事後援聯盟の獨自の事業として扶助を行つて來たが軍事扶助の徹底を期するため本府では軍事後援聯盟を通し軍事扶助法を準用し、救助援護の完璧を期することゝし新たに各道軍人後援聯盟に對して扶助事業費の三分の二を國庫補助をなし聯盟事業費と合して四月一日から實施する旨十九日各道知事に通牒を發した

感電の部下を救はんと 敢然！高壓線に挑む

咸北の山中に祕められた電工美談

命をかけた内鮮一體

【咸興電話】去る十六日長津江水電から咸南保安課に『電氣事故あり、從業員二名負傷』の簡單な報告があつたが、あり觸れた電氣事故として看過されてゐたところ二十三日端川警察署から詳細に、生死を超越した崇高な内鮮一體美談が明かにされた

長津江水電端川變電所電工山口縣玖珂郡祭野村生れ

藤井 要君（二三）は去る十五日午後六時ごろ常用人夫沈仁根君（二〇）と共に端川郡利中面新洞里山中に赴き咸北送電線第四百七十一號高壓線鐵塔上で高壓線架工作業中、沈仁根君が避雷用のワイヤーアース線に觸れ、硬直失神狀態に陷つた、藤井君はこれを救助すべく直ちにアース線と高壓線の接續金具をペンチで打折つた、この瞬間急激に沈仁根君は感電死を免れたが、凡そ十三米の鐵塔から兩人折重なつて顚落し、沈仁根君は失心したまゝ、高壓線の碍子に綱を引つ掛けから下つた、これを見た藤井君は顚落のため腕を折り

精神 朦朧たる中にも之を救助すべく凡そ十一米の鐵塔を攀ぢ昇り、ロープを以て沈仁根君を吊り降ろすことに成功したが部下を救助し得た安堵と重傷のため再び意識朦朧となり又も十一米の高所から顚落し、兩名共昏倒失神してしまつた、しばらくして同地の消防組員【】が發見、部落民十餘名に急報附近の民家に收容中、申告によつて醫生を帶同して驅けつけた香洞駐在所

首席 等の應急手當により幸ひ兩名共蘇生したものであるがこの犧牲的行爲は附近の評判となつてゐる

銘酒 大正櫻

内地數ケ所に鮮滿案內所を新設

【東京電話】日滿關係の緊密化に伴ひ滿洲及び朝鮮の事情を內地一般に認識せしめる必要が痛感されるに至つたので拓務省では今回既存の東京、大阪、門司、下關の四ヶ所に加へて新たに經費一萬五千圓をもつて新潟に鮮滿案內所を開設四月一日より開所の豫定である、なほ近く名古屋にも駐在員一名を置き鮮滿案內事務をとらせることゝなつたが更にこの外仙台、札幌敦賀の各地にも同樣案內所の新設が考慮されてゐる

四死體發見

海龍丸の遭難者搜查

【仁川電話】丸星運送店仁川支店沿岸部取扱船第一海龍丸の遭難事件に就ては既報の通り丸星仁川支店では直ちに第一朝運丸と加福丸の二隻を現場に急行せしめ乘客の搜査に努めてゐるが、海龍丸の傳馬船に救助された十四名と、仁川海事出張所の光輝丸が發見した死體二個の外は船體及乘客共消息がないので、丸星沿岸部では更に二十二日第二朝運丸に潛水夫その他船員十餘名が乘組み搜索作業を行ふべく現場に急行すると共に仁川海事出張所でも石黑所長自ら光運丸に四日分の食糧を準備して午後一時現場に出帆した、同午後五時同船からの無電によると昇鳳島の西北約二浬の地點で瑞山郡高山里赤井芳水氏（四七）の死體を發見しこれを收容現場に向けさらに航行した旨通知があつた

【瑞山電話】二十二日丸星第一朝運丸、第二朝運丸、及警備船に警察署員、青年團員、遭難者遺族など二十名が乘込み遭難現場である黃金山近海に出動したが、濃霧のため徹底的搜査が出來なかつた、仁川から蔚島に來る仁川汽船所有船慶尙丸が豊島沖で死體一箇を引揚げたが、これは瑞山郡梨北面山里李某（三一）と判明して第一朝運丸に收容した、また警備船光輝丸が同じく豊島沖で死體一つを引揚げたが、これは瑞山邑赤井芳水氏（四七）で第一朝運丸に引渡した、遭難の日から四日間に僅か四死體を引揚げたのみであるが、これ等の死體は皆救命袋をかついでゐた

遭難現場黃金山前加仁島は支那山東省から來る潮流が此處で豊島、蔚島方面に分れる分岐地帶で難所である、沈沒した第一海龍丸（四七噸）は何處へ流れたか跡も影もない（寫眞は救助に向つた第一朝運丸）

外務省第一回 日支親善學生に

范漢生領事の愛息

中華民國臨時政府京城總領事范漢生氏の愛息……死線を突破して新政權の父の許へ命拾の生還をした范道華君（一二）を日本で教育、第二の日支親善に活躍させようと、外務省が日支親善の第一歩に同君を引取つて日本教育をさせることになり、思はぬ幸運に感謝した道華君は近く東京に向ふことになつたが、二十二日夜七時から本町一の總領事公館で喜びと感謝の晩餐會が催された

數日前から手入れされた食堂に電燈も煌々と大圓卓には松澤本府外務部長一家族と來城中の相場外務省理事官を主賓に范父子一家總出で歡談は盡きず、松澤外務部長、相場理事官は日本酒の盃をあげて道華君の前途を祝福激勵すれば、やうやく習ひはじめの日本語で道華君は『ありがたうございます、しつかりやつて來ます』と感激の眼を輝かせた、嚴父范總領事も何時になく上機嫌で、日本語の判らぬ夫人も眼に露を光らせ無言の感謝を捧げ窓外に小雨が煙る早春の前夜は過ぎて行つた

道華君は外務省第一回日支親善學生として東亞學校に入學、六ヶ月間みつちり日本語を勉強した上、憧れの札幌農大に進むことになつてゐる

松澤部長談 日支親善に捧げる日本の贈り物です、范總領事父子は非常に感激してゐます外務省としては初めてのことで私達も喜びに堪へない（寫眞は范道華君に日支親善の乾杯）

“南總督と普校兒童”

霖雨の總督府に綴る人情美談

二……十 二日午後一時――霖雨が煙つてゐる、何時ものやうに職員と食堂でトンカツ辨の晝食を濟ませた南總督は白亞殿中央の總督室から窓外の雨、しつとりと濡れた光化門大通りをあかず眺めてゐた、この時フト眼を強くひくものがあつた、總督府正門脇の大柳の下に一群の兒童が細雨の中にしよんぼりと佇んでゐる風景だ

總……督 は室のドアーを開けてベランダに出て見た、兒童の一群の行動を眺め近藤祕書官を呼び『可哀さうにどうしてあのやうに雨に濡れてゐるのだらう、風邪でもひいてはならない』と事情を質させた、祕書官室の者が早速調べると引率の先生が總督府見學の手續をとつてゐるためであつた

兒……童 が廳舍の中に吸ひ込まれるまで總督はベランダに立ち慈愛の眼で見守つてゐたが兒童が小倉の服や朝鮮服を雨に濡らして總督室附近の見學に來た時、總督室のドアーが開いて總督をニコ〳〵させながら總督は兒童の前に現れ『修學旅行に來たのか』兒童は眼をキヨロ〳〵させながら無言で如何にも無邪氣に頭をペコリと下げた『ウムさうか、雨に濡れてさぞ寒かつたであらう、元氣な顏をしてゐて嬉しい、よく勉強して立派な國民になるんだよ』一番先頭の兒童が頭をなでられる光榮に浴した

お……そ らく總督は心で皆んなの頭をなで慈しみの手をさしのべてやりたかつたであらう『やあ、左樣なら』つた、兒童はニコ〳〵しながら室に入直立不動の姿勢で總督を見送つた、童心をうつた半島の慈父の心、折柄晝休み終りのサイレンが白亞殿をヮァーンと響かせて鳴つた

見……童 は生れてはじめて我に歸り引率の先生はここで一同に『氣をつけッ』の號令をかけ總督室に敬禮をして再び見學をはじめた、早春の佳話……この兒童たちは忠南正安公立普通學校男女生徒三十名である

ぐんく騰る

一月より二分

二月の全鮮小賣物價

本府商工課で調査した二月中全鮮の小賣物價指數を見ると（昭和八年を一〇〇）食料品は一二八・六、そのうち第一類（白米、麥、粟、豆類、白胡麻、澱粉、饂飩、豆腐等）は一三四・一、第二類（甘藷、馬鈴薯、玉葱、推茸、澤庵、林檎、バナナなど）は一二六・六第三類（肉類、鷄卵、牛乳、鮮乳など）は一四五・七、第四類（魚類、鯖罐詰、出昆布、乾物等）は一二三・三、第五類（砂糖、鹽、醬油、味噌、蕃椒、煎子、胡麻油、酒類、麥酒、サイダー、茶、食パン、煙草）は一二〇・四であつて衣料品や身廻品は一二一・九、燃料一二九・五、建築材料一三三・四、雜品一二九・五、これを總平均すると一二七・七となつてゐるこれを前月に比較すると食料品は一分を騰貴衣料品や身廻品は四分厘、雜品は三分二厘と何れも騰貴建築材料は、一分五厘燃料一分四總平均して見ると二分の騰貴

主要都市小賣物價

本府の調査による一月中の京城、大田、木浦、大邱、釜山、平壤、新義州、元山、淸津など朝鮮の主だ都市の小賣物價を見ると九十四種類の品物中昨年十二月の小賣物價平均に比べて騰貴したものは五十五品、下落したものは十六品、先月と保合であつたものは二十三品でその平均を昭和十二年中平均と比較すると約一割三分の騰貴、十二年一月と比較すれば八分四厘前月である十二年十二月に比較すると二分九厘の騰貴で昨年一月から鰻上りにヂリ〳〵と騰貴を示してゐる

最近一ケ年間に上つたものゝ中で甚だしいものは紙、鐵器、マッチなどの雜品類で一割八分、燃料が一割五分、衣料や身廻品が一割三分肉類が一割騰貴してゐる

女子、一般にも 木劍體操を獎勵

内地でも大人氣、照會等殺到

ヤツ、エイ、トウの氣合も勇ましく國民性の眞髓を錬成する、本府學務局が制定した『皇國臣民體操』は非常時の日本精神を喚起し心身一體に力強い響きを與へ、全鮮の各學校では全部正科に加へ體育の最高のものとし、體操に使用する木劍四十九萬六千七百九十六本を購入して全鮮兒童生徒に配給約五倍の普及で、專門學校以上の學校でも六千五百本を購入、新年度には中等學校用一萬八千五百八十九本、初等學校用十五萬四千二十四本總計六十六萬四千七百三十本の見込みがあり、松本學氏が會長の日本スポーツ文化協會でもこの體操を內地に普及させたいと指導を求めて來る等、學務局では講習會、講演會を開きこの體操の眞の精神を吹き込み、特に女子の體育には相應しく姿勢を端正優美にさせること請合ひで、女子や一般にもエイ、ヤツ、トウの體操を行はせることになつた、また皇國臣民體操を徹底的に盛へ解說した全州師範が發行した『皇國臣民體操精義』は賣切れで第二版も出たが定價一圓五十錢のこの普及版をつくり一圓程度で一般に廣く讀ませ內地にもこの文獻を移入することになるはずである

二千圓橫領

姿を晦ます

京城鍾路三の六鍾路金融組合外交員金英植（二八）＝假名＝は廿一日公金二千圓を橫領、姿を晦ました鍾路署で搜査に努めてゐる

高木部隊長入城

京城驛頭盛んな歡迎

〇〇部隊にあつて驍勇を謳はれた高木部隊長は南苑、保定より石家莊、大原攻略戰、つづく山西追擊戰等九ヶ月間に亙り七十餘度の血戰に赫々たる武勳を樹て、皇軍戰史上に劃期的一頁を綴つたが、凱旋の途上廿三日午後二時卅三分京城驛着『のぞみ』で驛頭小磯軍司令官、梅津中將、愛婦、國婦、鄕軍等將星官民多數の盛んな歡迎を受けて入城した

聽け血戰七十四度

〇〇部隊の奮鬪史

（高木部隊長）

講演 高木部隊長

とき　廿四日午後七時

ところ　本社來靑閣

【映畫】京日、毎申ニユースその他【場内整理料一人五錢】

主催　京城日報社　每日申報社

村社選手

我等のムラコソ來る――ベルリンで日本魂を全世界に示し五千米第四位の村社講平君が全朝鮮陸上競技協會の願ひをいれて五月上旬京城に來ることになつた協會恒例の京城運動場における三日間の練習會の講師として長距離をコーチするためであるがロスアンゼルス、ベルリンの兩オリムピックのヘッドコーチ沖田芳夫氏も來城に決定、オリムピック東京大會を控へて半島の陸上競技界は活氣を呈してゐる

戰時齒痛藥で 輝く博士

京城齒專の弘田敎授

事變以來齒痛を訴へて來る戰地の便りから『戰時齒痛藥』を硏究中であつた京城齒科醫學專門學校長、弘田精一敎授は、かねて京都帝大に學位請求論文『家兎齒髓知覺興奮に關する實驗的硏究』（齒髓溫熱的刺戟興奮並に之に對する鎭痛藥、麻醉藥、催眠藥の作用）を提出中去る十四日敎授會を通過した旨通知があり近く學位を授與されることになつた

弘田敎授は大正十四年東京齒科醫學專門學校卒業、昭和五年文部省高等齒科醫學校助敎授となり同年四月京城齒科醫學專門學校敎授として赴任以來、診療、敎授、硏究と努力を續けてゐたが右の論文は一月廿日に提出三月十四日に通過するといふスピード振りで御樂校長も我事のやうに喜んでゐる（寫眞は弘田敎授）

在城中は公私共格別の御懇情を蒙り尙本日出發に際しては御多忙中にも不拘態々御見送を辱うし誠に難有厚く御禮申上候

三月二十三日

私共

中富計太

石子

富田幸次郎氏

【東京電話】政界の長老民政黨の富田幸次郎氏は去る一月上旬郷里にかゝりその後全く全快したが憲政五十年記念式の行はれた去る二月十一日の前後三日間登院したのち再び病臥、東京澁谷八幡通り二ノ三二の自邸で靜養中去る十六日腎臟炎を併發し二十二日昏睡狀態に陷り二十三日午前六時五十分遂に逝去した、享年六十七【寫眞は故富田幸次郎氏】

氏は高知縣の產、私立藏陽學舍の出身で曾て土陽新聞の主筆となり次いで高知新聞を創刊主筆兼社長となつた早々から中央政界に出で明治四十一年以來衆議院議員に當選すると十回、昭和十一年五月には衆議院議長に選ばれた、濱口氏亡き後の高知民政黨の長老であるばかりでなく中央政界の偉大な存在であつた

天氣豫報（24日）

京城	北乃至西の風弱く	曇
全北 全南	南西乃至北西の風弱く	同
慶北 慶南	南西乃至北の風	大體は曇だが所によると雨がふる
平北 平南	南西乃至北の風弱く	一般には曇だが小雨のふる所もある
咸南 咸北 江原	西乃至北の風弱く	同
咸北 咸南北	北西乃至北東の風弱く	同

仁川の潮時（24日）

	午前	午後
滿潮	[illegible]	[illegible]
干潮	[illegible]	[illegible]

京城地方【今晚】曇り【明日】曇一時晴

仁川地方【今晚】風弱く曇【明日】曇

二十三日朝の天氣概況

高氣壓は本の東方海上からシベリア東部に瓦つて居るもの、外支那內陸にも弱いものがあつて日本海中部、九州南西方海上、南滿洲には小低氣壓が散在して居ます、滿洲南部、朝鮮及內地は未だ諸所小雨で曇の所もありますが北支那は晴れ勝となりました、鮮內の氣溫は昨朝より一般に少し下りましたが未だ平年以上で中部及南部は二度乃至五度北部は五度乃至九度位高目です

酣の豫算府會行進

工場誘致で一議論

やつと質問戰は打ち切り

賑ふ二日目光州府會

【光州】二日目府會は二十二日午後一時半開會先づ相馬議員商工會議所と市街地計畫令について質問について相當補議員豫備費の詳細說明を求め秋岡庶務係主任杉山議長の說明の後

▲星子議員 本稅の增稅によつて附加稅も當然增稅しなければいけないものか府尹の意見を聞きたい釜山から光州に赴任した當初初回の會議で府尹は當分の間現在の戶別稅附加稅のまゝ賦課して行きたいと云つたことを記憶してゐるが如何

▲杉山議長 戶別稅附加稅の賦課は先般組長會で話した如く新設光州師範附屬小學校建設費の起債財源に當てるため自然增稅の已むなきに至つたのである、[illegible]

上されなかつた

▲安藤議員 光州發展策に大工場といふ工場ならドノく光州に誘致すると云ふがすべてさう云ふ譯には行かない、先年某人絹工場が光州は水が惡いと來なかつたではないか要る軍需品工場がよくはないかと思ふ、府尹の意見は何うか

▲杉山議長 工場誘致につき種々手配はしてゐるがこれが果して實現するか何うか判らないけれども兎に角銳意手配だけは常に怠つてゐないから諒承されたい

▲岡議員 私は光州發展上府政の重點を何處に置いてゐるか聞きたいなほ杉山府尹は非常にのみ沒頭し府吏員の監督に手が屆かないのではないかと思ふ

▲杉山議長 光州府政の重點はこれを何處においてゐるかとの質問については當局としては何處にも偏せず適當なところに施して行く、なほ府吏員の監督については不斷十分に注意してゐるがなほ心當りの點があれば具體的に後日御教示を願ふ

▲西古內務課長 申上げるまでもなく吏員の監督は機會ある每に注意してをり常に正直にして事務に忠實親切をモットーにしてゐる

▲星子議員 土地坪數割を賦課する際丁字形の道路に面してゐる家屋の場合廣い道路と狹い道路と何れを標準とするか

▲[illegible]議員 例へば百坪の土地に半分以上道路に入つた場合如何に賦課するか

▲萩尾技師 坪數割は一、二、三等地に分けてゐて今の丁字形の場合の如きは大概賦課されないのが多い、また所有土地の半分以上が入つてゐる場合は府府の申出によつて賦課されない

▲星子議員 家屋保障と共に[illegible]保障は如何にするか

▲杉山議長 土地坪數割に依つて立退く家屋について營業保障は目下考へてゐない

▲尹[illegible]議員 先頭收益稅を何故土地坪數割に改名したのかと質問しても答辯がないが、その賦課に對する根本精神を聞きたい

▲杉山議長 坪數割は始めから坪數割として邑時代の趣旨を引繼いでこの精神には變りがない

▲森安議員 光州川の堤防につき下の方は大分欠潰してゐるが十三年度の豫算で何んとかならないものかまた水道の給水節約につき一立方に八錢、九錢づゝ使用料を徵收することは多過ぎるのではないか

▲萩尾技師 實は昨年から豫算繰延へとなつて十三年度に計上されかつたのである、なほ給水料の低減については目下七割三分平均から算定して計上したのである

▲岩橋議員 十三年度豫算に增加されてゐる人件費は欣快に思ふがこの增加に依つて漸次增員したものを何か豫算の都合で減員をしなければいけない時實際に減らすことは難しいなるべく增員の際は將來かゝることのないやうに愼重考慮の上永久的に增員するのがよいと思ふ

▲西古內務課長 事務處理に不都合を來さない程度で吏員給料と最近頓に增加した納稅告知書、並に督促狀發布に必要なる人件費を增加したのである

▲[illegible]議員 新たに編入された芝山町、昭和町には道路がなくなほ以前道路があつたものを刑務所作業地になり交通を遮斷して不便が多い何んとか方法はないものか

▲萩尾技師 市街地計畫の發表の機何れ解決されると思ふ刑務所作業地交通遮斷は再三再四刑務所に交涉してゐるけれど未だ解決の曙光を見出せない

▲谷口議員 私の贊育を俟たなく[illegible]

[illegible]ば[illegible]急手當を加へたが同八時半[illegible]

和やかな質問戰

第一日の群山府會

【群山】十三年度府一般經濟豫算並に諸條例改正を審議する第四十九回通常府會は廿二日午後一時から府廳樓上第一會議室で開會先づ全員起立して國旗に敬禮、在支皇軍將士に感謝の默禱を捧げ佐藤府尹より豫算編成の大綱について說明し終つて出征皇軍將士に左の感謝文打電の件を上程滿場起立して可決し日程[illegible]の後、十三年度豫算案[illegible]議員から吏員給料及宿舍費につき質問、次いで土木費について[illegible]氏家兩議員の質問があつて後

▲全義錦議員 街燈の巡視及破損修理は如何なる方法で行つてゐるか

▲上條番外 專任を置いて巡視させ破損は發見次第電氣會社に通報して修復せしめてゐる

▲金白議員 錦町不二會社埋立地の道路はどうする方針か

▲上條番外 寄附申出があるが市[illegible]

ぬか

府民の負擔が增すことにはなら

▲松本議員 汚物掃除令の施行で[illegible]

ても戰時體制下に於ける國民の保健增進は特に必要であるが豫算面には府民の保健增進に關する施設費が一つも設けられてないのは如何なる理由か

▲西古內務課長 健康增進には消極的、積極的があつて豫算關係で豫防注射、消毒、種痘等の消極的に意を用ひたのである

と問答して五時一讀會を打切り散會

街地令の施行關係もあるので其儘である

▲[illegible]議員 種痘を府內の開業醫に委囑しない理由は

▲上條番外 成績がよくないので施術生を使用して徹底せしむることにした

▲氏家議員 檢黴費は何所の檢黴か

▲上條番外 遊廓の檢黴である

▲中山議員 檢黴を府で施行し目的の徹底を期することは出來ぬか

▲上條番外 法規により警察で行ふことゝなつてゐる府は費用を負擔するのみである

▲氏家議員 塵箱を表通りに置くのは不潔でよくない門內に置かせることは出來ぬか

▲上條番外 その通りさせたいと思ふ

▲上條番外 全然ない

▲淸水議員 開會閉會費額は

▲上條番外 十二年度に於ては七千二百六十四名で一日平均四十七名二分强となつてゐる

▲徐議員 舊曆による市日を陽曆に改めた後の府營市場業績は如何か

▲上田番外 周知徹底に努めた結果何等變りはない

▲全義錦議員 時局下に於ける府民の精神的指導の特別方策はないか、あるなら具體案を承りたい

▲上條番外 豫算の許す範圍に於て從來も極力努力してゐるので特に立案してはゐない

▲藤田番外 國體觀念の明徵、神社參拜、府民總立運動、婦人團體の集合訓練、講演會、朝起獎勵等によつて愛國心の涵養勤勞精神の振興に努めてゐる

の質疑應答があつて十分間休憩四時十分再開、某議員の家內副業獎勵の疑問があつて

▲氏家議員 職業獎勵舘の製品目を改める意向はないか

▲上條番外 現在製造してゐる物は行李は需要が多く注文に應じきれぬ狀態にあるので此處二、三年は改める意志はない

と問答し議事頗る和かに進行して經常部の質疑を了へ臨時部に移り

▲町井議員 京町道路開鑿工事は現在どの程度に進捗してゐるか又竣工期を延期したといふが如何

▲上條番外 約五ヶ月位遲んで[illegible]る現場に障害物件があつたり事變關係で人夫の出が惡るかつたりして工事が非常に遲延したので十ヶ月間延期し極力工事を急がせてゐる

▲町井議員 更に工事延期の爲に府民は損害を蒙るとはないか

▲倉科番外 三月七日迄に約三割五分施工されてゐるから年度末迄には五割位は十分施工し得る見込である

▲全義錦議員 豫算に計上された外に下水溝施工の必要な個所はないか

▲倉科番外 他にも所々あるが豫算の關係で本年は取敢へず檢田町から中學校に通ずる道路に施工することにした

其他傳細に亘る質疑が熱心に續行され午後六時すぎ漸く日程通り經常、臨時部歲出豫算の一讀會をすまして散會

釜山府會

休會明けの

廿二日平凡

【釜山】休會明けの釜山府會は廿二日午後一時三十分開會、日程により第一讀會に入り豫算案を上程金務玉、原武市、大矢晉松、飯田勝正、中島鶴太郎その他各議員からの質問が續き、圖書館の新築本年度支出額七萬五千圓西面道路橋梁設置費府負擔八十萬圓、及び土地區劃整理、人件費等に亘つて質問の矢が放たれ、李鍾鈺氏は瀛州町公設市場の復興、嚴水川改修工事について質問、平々凡々裡に午後四時散會した

戰線の食糧空輸は

鮮產罐詰に限る

壞れず味よく榮養價百%

四月から大量生產

釜山の罐詰報國

【釜山】府內の罐詰業者は昨夏の事變勃發以來企業統制の有力なる一部門を引受けて活躍を續けてきたが戰線の擴大に伴つて食糧を空輸するやうになり、國らずも鮮產罐詰は投下に際して破損が輕微である上に榮養價百パーセントで且つ味もよく、衞生的であるといふ諸點づくめで全線の將兵に珍重されてゐることが明かとなり、今春からは從來の〇〇〇箱を遙かに超過する大量製產を一手に引受けることに決定した、これがために府內の當業者は[illegible]つて皆等の皇軍將兵に鮮產魚類の罐詰を提供して文字通り銃後國民の意氣をあげることゝなり、去る廿日から三日間打通しの打合會を大橋通り水產會館の樓上で開催、具體的方法について協議し、四月初めから積極的生產に邁進することになつた

責任感と勇猛心

部隊長すつかり感激して

看護員の通信を寄す

【釜山】北支山[illegible]地帶に轉戰赫々たる武勳をたて名譽の戰傷を負ひ召集を解除された釜山刑務所看守[illegible]山口俊男氏の輝やかしき武功につき部隊長から中田刑務所長宛左の如き通信があつた

顧れば山口君には出征以來常に我が〇隊の先任〇隊長としてあらゆる困苦缺乏に堪へられ特に先任務に適進せられ特に個人的[illegible]の中に毅然として活躍され候事は〇隊一同の等しく認むる所にして其の卓越せる統率と崇高なる責任觀念とは實諸の極みに候而して君は[illegible]時よりヘルニヤに冒され[illegible]なる御辛苦を續けられ候は小生常に御同情と感謝するもの[illegible]第一線を退かれ速に治療回復の上再び戰線に立たるべく御[illegible]も倒れて後已むの決意を[illegible]太原攻略戰に[illegible]たる戰捷後初めて受診を承諾され候次第彼の泥濘膝を沒する難路も水深胸を浸す河川も意とせられざるかの如く 先頭道を續けられ何又太原攻略戰に於ては峻嶮なる山岳重疊として人跡未踏の難路を征服されし其の武勳は常に衆を拔きんずるものありしは全く盡忠報國の赤誠と旺盛なる責任觀念の然らしむる所にして讚仰おく能はざるもの有之候

なほ山口氏は戰後病院に入院して幸に負傷は全治したがヘルニヤの治療を要する爲後送されて釜山で手術治療を受け全治して一旦原隊に復歸して第一線出動の命を拜[illegible]してゐたが召集を解除され今は銃後の一員として活動中である

赤心籠る

鐵兜獻納

東萊第一普校

【釜山】東萊邑內の第一公立普通學校では職員生徒父兄の三者が打つて一丸となり、勤勞作業と冗費節約を目標として兵器獻納に精進してゐたが愛國の結晶は昨夏七月の事變以來積り積つて實に[illegible]

上金持逃げ

釜山で御用

しきに[illegible]る二十日[illegible]城江の砂金[illegible]に沿ひ地下十尺ほど掘り下げてゐる間に[illegible]め となつたのを何時[illegible]仕事をしてゐた人夫らが氣付いて救助にかゝつたが間に合はず二人とも絕命した

【釜山】[illegible]一件[illegible]日夕入港の連絡船で釜山棧橋へ上陸した愛知縣一宮市[illegible]町二丁目[illegible]服裝物商店員佐藤正夫(二[illegible])は[illegible]前派出所の警官に怪しまれて取調を受けたが主家の金三百八十圓を橫領して滿洲行きの途中と判明し、留置の上本籍地へ照會中である

哀れ纖手自殺

【[illegible]】邑內[illegible]町[illegible]男[illegible]は平素友人達に「死にたい〳〵」と口走つてゐたが去る八日夜來行方不明となり、十三日釜山の大池公園內で服毒自殺を遂げてゐるのを發見、懷には十二通の遺書を所持してゐた 自殺の原因は同人は六歲の時で[illegible]

また二人組强盜

棍棒で主人を亂打して

一物も得ずに逃走

【新前】去る六日平北龜城郡沙器面及び館西面に一夜に三件の持兇器强盜が出現し犯人搜査中のところ又も二十日午前一時頃同郡天摩面新頭面風長金允夏(三[illegible])方に二人組の强盜が侵入し由金を迫つてゐるのを隣室の實弟金允[illegible](三[illegible])が起上つて來たので强盜はやにはに三尺の棍棒を持つて兩名を亂打し逃走した事件が發生所轄龜城署では犯人搜査中

病院船〇〇丸

釜山で慰安會

【釜山】北支の第一線から內地へと急ぐ白衣の勇士一行〇〇〇名を收容した病院船〇〇丸は二十二日朝[illegible]

學校に入れたさに

戶籍謄本を改竄

歪んだ親心から不正を犯す

一校で十通も發見

【釜山】慶南咸安郡北普通學校に新入兒童百二十名を募集したところ二百九十三名の入學希望者が殺到したが就學年齡を超過した兒童の父兄は[illegible]餘り入學願書に添付する戶籍謄本の生年月日を改竄して提出したもの約十件を發見したので道學務課では各學校長に入學願書の取扱ひ方について警告を發した

釜山入港

釜山入港同日夕出帆したが愛婦釜山分會と國防婦人會の會員多數は〇〇丸を訪問し映畫と舞踊の慰安會を催して長途の勞を犒つた

老婆を轢殺

【釜山】去る廿日午前十一時過ぎ慶南昌原郡熊南面德山里の二等道路で運水運輸會社の貨物自動車(慶南第一六八九號)が同部落の吳[illegible]伊女(六[illegible])を轢ね飛ばして即死させたので運轉手金末祖(二[illegible])は所轄署で取調中

上林亥八氏

【群山】前南朝鮮電氣會社々長上林亥八氏は東京出張中去る十九日午前八時逝去した、葬儀は郷里山口縣岩國町で執行の筈

僞造五十錢

新義州で發見

【新義州】去る二十日新義州府[illegible]營業所窓口から五十錢の僞造貨一個を發見し新義所署に屆け出たが、右は大正十三年鑄造のもので眞貨より多少軟質であるので容易に見わけ難く綠の模樣、色澤などから見て良い[illegible]されたものらしい

小磯軍司令官

湖南地方巡視

【群山】朝鮮軍司令官小磯國昭大將は湖南地方巡視の途次廿四日後六時扶餘方面から自動車で[illegible]

入試合格

蔚山農業校

張錫智、金正五、李採文、李丙洛、李炳錫、揚朋錫、李樹南、二宮慶州、八木基、具然在、朴聲河、朴炯俊、崔許鉉、車昇路、朴明煥、金炯南、金錫準、崔相漢、金聖大、金作枝、沈相禹、吳日鉉、朴在楷、李道生、徐丁準、朴圭烈、崔壽萬、崔海辰、崔錫根、李周鎭、李榮杰、金晉道、李錫武、朴命生、李在源、金文[illegible]、李德雨、盧相君、金相裕、徐潤洪、盧鎭五、金正哲、車載昌、李相中、徐渭錫、金鎭[illegible]、沈鎭甫、沈鎭華、金根山、吳重煥、鄭漢生、車彩祚、金炯澤、李長洛、朴六祚(以上五十五名)

大邱女高普

白鳳香、金玉姬、李相婉、河淵姬、崔惠淵、鄭淵南、郭命順、李貞玉、金宗愛、金貞姆、徐延[illegible]

珠、金德祚、金東淑、金良姬、孫順桂、南貴玉、李今向、徐斗里、鄭容得、張行煥、車琢姬、尹泰守、林貞姬、洪鎭姬、李點潤、鄭貞和、李慶子、鄭蓉南、許燕子、李甲淳、鄭元子、李福熙、石五子、鄭必安、朴淑子、吳壽根、丁申淑、吳相慈、張聖子、權玉行、朴順熙、李甲順、鄭德奇、李恩晃、閔成鶴、鄭甲禮、禹明子、金英姬、鄭善淑、金三祚、張英玉、金乙年、崔允淑、朴吉運、金貞淑、金明順、徐正姬、金容寶、李貞華、鄭玉任、趙龍姬、孫鳳愛、李順姬、黃順約、朴貞淑、池靜子、金順運、李蓮姬、李慶運、裵貞淑、郭貞熙、李福運、張貞濟、金春綠、申金[illegible]、金宗春、徐花子、尹玉鶴、徐英子、金音榮、金在祚、孔蘭秀、崔玉順、金惠淑、金德姬、安基子、趙瑞姬、閔內文、成福淑、金粉出、鄭順姬、成者玉、吳福瓊、李淸香、鄭壬中、李花熙、尹瑞秀、裵貴媛、李英愛、安彩詠、安文洪、朴鳳南、鄭聖姬、李富順、權英愛、李相玉、鄭乙蓄、鄭兩丰、蘇桂媛、李甲順(百十名)

小作人表彰

【[illegible]】淑明農場の優良小作人表彰式は廿五日盛大に擧行される

青年の厭世自殺

【光州】十九日午後五時五十五分光州驛發第一三二三號列車が潭陽に向つて驀進中同六時三十五分頃潭陽郡鳳山面大秋里で約十米前方から一青年が機關車めがけて飛込んだので急停車したが及ばず瀕死の重傷を負つたので潭陽病院に運ばれ應急手當を加へたが同八時半絕命した、この青年は潭陽郡潭陽面南山里李[illegible]化長男龍岩(二[illegible])で厭世自殺の模樣である

親に死別し、繼母の申氏に育てられたが日頃申氏はひどい虐待を加へ、食事さへろくに與へず、その上實父瑞植も繼母に加勢するので堪へかねて自殺したものである

砂金採掘中

二人生埋め

【新義州】平北義城郡義城邑李興吉(三[illegible])及び車[illegible]は砂金の試掘をしてゐた[illegible]

歲出の第一讀會

大邱府會四日目も

至つて平凡に進行

【大邱】休會明け府會四日目は廿二日午後一時半開會、興頭林[illegible]助議員の動議によつて志願兵制度並に學制改革に對し、政府要路及び總督府要路に感謝電を打電することに決した後十三年度豫算歲出部の第一讀會に入つたが、井[illegible]議員より詳細に病狀を報告して遺族の意を表し、つい[illegible]議員に對する當時の事情報告を求め、許智全中病氣で歸邸した許智議員に對し議員より府會議員代表として北支第一線の皇軍慰問に派遣され一泊、廿五日朝八時旅館河南原に向け出發、廿六日午後一時再び來鮮し府會議事堂で佐藤府井より府營概況を聽取後、演習地、公會堂、職業紹介所其他を視察して同夜京城へ、京南鐵道經由歸任の豫定で、綿工場、飛行場等、府有地管理等について質問、古市府井より答辯あり續いて內山議員の水道、瓦斯問題、完野議員の肺結核、癩病の豫防施設、市街地計畫、琢原議員の工業學校設置、平和[illegible]議員の營業費、その他尹府[illegible]議員の本費に對する質問に對しそれ〴〵古市府尹および外より答辯して午後四時九分散會した

身投げ未遂

【群山】去る廿日眞夜中群山棧橋岸壁にたゞずみ擧動不審の內地人女があるので水上署員が取調べた處右は府內居住栗田[illegible]氏の義妹した子(何れも假名)さんで栗田氏夫人である姉と口喧嘩の末家を飛出し投身せんと築港を彷徨してゐたものである

【元山】◇……長閑な或日の午後[illegible]

十畝畫

鮮展改革への言葉〔5〕
十數年の徒勞から 今ぞ第一歩から踏出す覺悟

山口長男

時の實狀に關係する事なく單なる殺觴として頹落と走れた鮮展は十數年後の今日も尙頹落とした存在を續けてゐる。

朝鮮は今に於ても尙藝術を欲してはゐない。人々は單に立場としての藝術への憧憬に向つて只管に誤つてゐる。

その發端に於て爲された總ては之が繼續さるゝ限りその禍根を絕つ事は出來ない。それは年と共に過たれたる多くの犧牲を生む事を止めないであらう。

若し鮮展が繼續さるべき義務としての止むを得ざる理由を有するものであるとすれば、此の過去の經驗と相源を自ら再考しなければならない。それは當分自體が經營に就いての經驗者たるべきであつて敢えて出品者たる鮮展の先覺諸氏に聞ふべきではない。何故ならばそれ等の人々は出品競爭以外に於ては何ものを考へ得るものでもないのである。即ち鮮展の出品者は朝鮮に於てのみ成育されてゐるのであつて藝術及び現在美術の內勢を洞察すべき必要を持たないのである。

その何れとしても出品者の立場は通常主として自己の成長に留意する事に在つて共實經の綜合が自然的に出品總體の發展を擔し得る可能性はあるとも規約の改革に就いては事實は白紙である。隨つて此等の人々の意見等を參考たらしむる如き手段こそは却つて新たなる混亂と懈怠とを招くに過ぎないであらう。鮮展の出品者はこれに對して絕對に批判力を持ち得ないものなので、即ち鮮展當局と出品者は十數年間同じ經路を歩み實狀は同じ憾みに終始してゐるもので、その事をへなければならない。藝術的文化の發展は局部の現狀に抑して歩歩を加算する事に依つても可能であるが、精神的文化の成育は一局部の限定を爲されるものではない。常に最大最高を標準として現狀を勝る事に依つてのみその目的に從ふものである。隨つて之等に對する設置機關の性質はおのづとこの原理に合致しなければならないのである。

鮮展當局は出來得べくば世界美術界の現狀に齊眼し、又本邦美術界の多樣なる過去の經緯を考究して鮮展經營に確固たる基礎を求めねばならぬ。近接せる無經驗なるものの定まりなき一言一動に依つて態度の改變を爲さるゝとも、所詮は現狀の無方針の擴大に過ぎないもので、之等限られたる數の審議を許すとは排斥されねばならぬ。

鮮展の病弊は制度の缺陷にあるものではなく、その當時に就いての無方針と無批判とに依つて常に周圍の意思にのみ依存して來た實狀に在るのである。

鮮展當局は少くとも半專門的に擔當の責任者を常任しなければならない。之等の人々は會期前後以外に於ても審查を受持つ委員と共に必要なるべき研究をしなければならない。審查委員はその名譽職たると如何とを問はず常任としなければならない。そして之等の人々は鮮展關係以外の本邦畫壇の公人の中より、少くとも五人以上の人選を豫定すべきであつて、毎年時に於てその支障なきもの二人以上を互選して審查を擔當せしめる事が必要である。之等の人々の任期は二年三年と限る事なく寧ろ半永久的に名譽職たらしむるものである。之等名譽職に對する謝禮は鮮展期たると如何とを問はず何等かの便宜を取計らる事に依つてその待遇を滿たされるであらう。

鮮展の缺陷は以上述べたる如く當局が會場のみの設置を爲して、當局自體に殘すべき所がない事を主因となすものであつて、徹底たる定見を持つた統率なき態度に參加する出品者はおのづと無方針無自覺たらざるを得ないのである。

かの每年次に於ての改變の如きは初年に於て既に概略帝展制度を模して作られたる鮮展に於ては、些かも大綱に於て變動を來すべきものではない。

十數年の過去を無爲にした經驗を有する鮮展は、今や斷乎たる決心を要するのであつて、內地先輩の個人的旅行談の偏見等に耳を藉す事なく本邦美術界の現狀より更めて縦覧期として充分に勵はねばならぬのである。

現狀に於て鮮展の地位は我が美術界の一角に在つて他と比較し得べき素因も現狀も持ち得ない事を當局は勿論その擁護の立場に在る總への人々も深く認識しなければならない。

斯くある事に依つてのみ鮮展の一回の更新は達成し得るものである。

戲曲〝春香傳〟讀後感
注目さるべき特有の面白味

翟川鶴次郎

張赫宙氏の『春香傳』（新潮）は朝鮮の古典を小說から翻案した一種特有な面白味のある戲曲である。

朝鮮の古典がかうして內地に紹介されたのは、民謡の翻譯は別として恐らく始めてであらうし、試みから言つても、內容の點から言つても充分注目されていゝ。最近新協劇團で上演されるとので、當事者たちは準備のために既に朝鮮へ出かけて歸つて來たことが報ぜられてゐる。この戲曲の價値や真の成績は具體的には上演されたものを見た上でないと說明出來ないのではないかと思ふ。私には歌舞音樂的が持つあの一種特有な面白味が想像される。

話は今から百數十年前の時代の事柄で現在の私たちにとつては至つて簡單なものである。が六幕十五場といふ大きな芝居だ。

使道の若様なる夢龍が、芳春の一日、廣寒樓にのぼり、たまたま川のかなたに、ぶらんこに乘つて遊んでゐる春香を眼に止める。これが機緣となつて二人は戀仲になる。

然しやがて、夢龍の父が、そこから歩いて十日以上はかゝる都へ榮轉することになつて二人の上に悲しい別れの日が來る。

春香の母はもと妓生であり、夢龍は仕官するために科擧の試驗をひかへた勉學中の身である。二人は身分、境遇が全く異つてゐるが晴れて相逢ふ日を約束する。

その後へ新たに轉任して來た使道は極惡の役人である。あらゆる苛政が行はれる。苛斂誅求を極める。春香を勝手に妓案に登錄させて呼び出す。そして己の意に從はしめようとし、これを背はぬために首枷をはめて投獄する。かくして時を稼ること數年、彼女はあくまでも貞節を守りとほす。

夢龍は仕官して暗行御使となる部下を從へ、身を百姓、乞食などに變裝して春香の土地へ潜入する。探索の目的は、各郡の守令、使道の惡政苛政であり、民間の惡事、善行である。そしてさきの極惡使道は、己の誕生日の祝宴最中に逮捕され、春香は救ひ出されて目出度し／＼となる。

から說明したからと言つて、惡は滅び、善は榮える、と言つた教訓的な調子はない。使道の苛政と適切な、身分を異にするもの、間の戀の物語とが、物ひ交ぜられてゆくところに、傳說の中にひそめられた民族のはげしい歷史が迫つてくるのである。百數十年前とは言つても、日本の現在からそれだけ遡つた時代よりも、ずつと封建社會の掟や風習は厳しかつたものと思はれる。

後記によれば、朝鮮の古典文學中の随一の人氣小說で、最も大衆的に愛讀されてゐると。古典とは言つても、作者、著作年代ともに明かでなく、もとは小說でなく、歌唱であつた。『全羅道地方に春香傳の內容に似た話があつて（或るものが）それを妻詞にとり上げたが大衆の人氣を得て、人々に膾炙される中、文藝に堪能の士がこれに潤色して、讀物にし、更に多數の人が夫々の創意を入れて小說化したのが、今日流布されてゐる諸本であらう』と張赫宙は推測してゐる。

長い年月の間に、自然に多くの人々によつて創り上げられ、大衆的に愛讀されて來た。その事情については、もはや說明するまでもあるまい。讀後に殘る愛憎の情とその性質とが、どんなものか、ちやんと讀者にはわかるであらう。それが『朝鮮民族全體の心』だつたのだ

臺詞の用語の調子は、一考の餘地が充分にある。現代的な、と言つても或る種の現代的な印象があつて、時々、作品のイメージを妨げられる危險を感じた。作者がこの戲曲の時代に相當する日本の當時の生活や言葉に飾り通してゐないためかも知れない。が、全體の調子はよく整へられてゐる

豆戲義
雨

雨が降つて來たらいふ時の朝鮮の人々はどんな表情に現はせるか、[illegible]

突きつめて聞かなかつたけれど彼らは本能的だといつていゝ又祖先傳來的なといつていゝ感情なのだ。私たちには自然を恐れる氣持もあるがまた自然をたのしむ心も同時に持合せてゐるのだが、朝鮮の人びとにはこの自然をたのしむ心を欠いてゐるのだらうかしら何か昔に大きな不幸を自然から受けたのだらうか、私はしかしそれを聞ふつもりではないのだ。唯そんなに雨をいやがつてゐるくせにどうして朝鮮には朝鮮獨特の雨を防ぐ身廻品がないのかそれが不思議でならないのだ（岡部四修）

あす濱本浩氏入城
京城滯在は三、四日間

朝鮮鐵道局員銃後の派遣撮りを觀察し、それを題材に映畫化を志して『淺草の灯』の作者濱本浩氏は廿二日夜東京驛を出發した旨日本旅行協會鮮鐵部員あて入電あり廿四日朝釜山上陸、同午後入城することゝなつたが、京城滯在は三四日間、それより北鮮國境方面を見學の豫定で在城同好者の歡迎會及び座談會等の計畫もあるやうだが、餘日少いプログラムだけに氏の入城を見てからでないと決定に至らない

文學遺跡巡禮
半島からも二人

國文學專攻雜誌として全國各大學專門學校を始め當地の各高女圖書室にも備へられてゐる『學苑』誌上に於て一昨年來異彩を放つ研究調查記事として吾が國文學界に一エポツクを作つた『文學遺跡巡禮』の筆者こそ誰あらう、今春東京東中野なる日本女子高等學院國文科を卒業すべき左の五才媛である。即ち田安宗武、大石千引を擔當せる泉喜美子（大邱高女卒）加茂眞淵、橘千蔭を擔當せる岡本峰子（淑明高女卒）新井白石、楫取魚彥を擔當せる陶山和子（釜山第一高女卒）石川雅望、清水濱臣を擔當せる鈴木壽枝（昭和高女卒）橘守部を擔當せる宮野綏子（京城第一高女卒）にして德川時代國文學者の遺族・遺跡並びにその業蹟を研究調查したもので國文學界に新天地を開拓したものである（寫眞右から鈴木壽枝・岡本峰子・宮野綏子・泉喜美子・陶山和子）

隨筆 忘られぬ人 (六)
大隈老侯の言葉

池田林儀

その頃、僕の役目は、雜誌『大觀』の編輯をやると、大隈（重信）侯に來客がある時、應接室に入つてゐて、その談話を聽いてゐることであつた。侯の話術は有名なものであるが、次から次へと新らしい話題が飛び出して來て、一口に言つて面白くて／＼たまらなかつた。陳情團などの虫のいゝ注文を、あつさりあしらふところなど、胸のすくやうなことが多かつた。何時だつたか、關西邊から押しかけて來た陳情團が、遊廓移轉問題か何かで滔々と捲くし立て最後に

『若しこれが御贊成を得ることが出來なければ、我々一同腹を切るより他に道はありません』と言つたものだ。すると今まで默々として聽いてゐた侯が、ぐつと身をのし出して、

『うむ、たまには自殺もよからう』

と云つたので、われ／＼一同思はずどつと吹き出してしまつた。陳情團もつい釣り込まれて笑つたので折角の陳情もそれ切りおぢやんになつたことがあつた。

侯はわれ／＼書生連中に對し、いつも身の廻りをさつぱりするやう、それとなく忠告された。それも直接でなく、色々外の話の次手に、極めて自然に言はれるのであつた。ある時

『大久保（利通）さんといふ人は、寫眞で見ると隨分立派な方ですね』と言ふと

『うむ、どうして中々立派な男ぢやつた。それに大久保は何時も身裝をきちんとしてゐたし、鬚や髯などもきれいに油脂もつけ、櫛も入れて立派な風采が一層立派に見えたよ。どうも人間といふものは、身裝を整へるといふことが禮儀の一つだよ』

『木戸さんも立派ですね』

『うむあれもきちんとしてゐた。木戸は元來が貴公子風に生れてゐたし、それに衣類にも氣をくばつてゐたよ。しかし、大久保の方がまあお洒落と云ふところだ』

『西郷さんは——』

『西郷は風體からして堂々としてゐたがあれも矢つ張り何時もさつぱりした身裝をしてゐたよ木綿物が好きでよく木綿物を衣てゐたが、あれでも矢張身分相應の身裝をすることを忘れなかつた。少し着こなしが下手なもんだから、時々不恰好に見えることはあつたがね。後藤（象次郎）や福岡（孝悌）などもいゝ身裝をしてゐた。風采といひ態度といひ、後藤は堂々たるものであつたよ——まあ若い者は若い者で、身分相應にさつぱりした服裝をすることだ。身の廻りを氣にしないといふやうなのは禮を知らんといふだけでも一歩他人から遲れてゐることになる』

と言つた調子であつた。

今一つ侯の言葉で、今日もなほ忘れられないことがある。それは僕がヨーロッパへ行く時、暇乞に行つたところ、

『いよ／＼行くか。あちらへ行つたら勉強などする氣を起すなよ。それよりか出來るだけ廣く歩いて、出來るだけ澤山の人に會ひ同年輩で永久に友達になれる者を一人か二人見つけて來ることだ。もう一つ長いのに言つとくが、人間は修養が第一だ。それにはどんなことがあつても人を憎まぬことだ。人を憎んだり嫌つたりすると、こちらの人相も——特に眼が惡くなる。氣をつけるんだね。まあこれが吾輩の餞別だ』

侯は僕のことを呼ぶのに、名を呼ばずに、いつも『長いの』と言つてゐられた。

『人を憎むな』といふ言葉、これは今日もなほ耳の底に、侯の聲そのまゝに生き殘つてゐる。修養はむづかしい業だ。

不連續線
給仕

小學校を出たばかりの少年が、家庭の事情からとはいひながら、職業戰線に立つといふことに對しては、同情せずにゐられない。

たとへ地位は彼等より上であるにしても、一概に『給仕』と輕蔑して、奴隷か何かに對するやうな態度をとることは宜しくない。

しかし、給仕の側にしても、初めの間はおど／＼としてゐるが、少しく慣れるに從つて、次第に横着になり、一度や二度呼んだ位では返辭もせぬやうなことがある。

そこで、給仕を呼ぶ方でも手を變へて、何とか有效敏速に仕事を運ばねばならなくなる。

『給仕！』

ただ、それでは刺戟にならぬ。

『太田君！』

名を呼ぶのもよいが、それも慣れゝば役に立たぬ。

『おいよ、おい』

競合みたいに節をつけて呼ぶこともある。一つの目先きを變へることにはなるが、これも永續せぬ。

『おい、給仕。さ、早い者勝ちだ』

から呼べば、何かくれるかと思つて、そこらに屯してゐる給仕がドヤ／＼とやつて來ることは必定だが、二度も三度もやるうちには效能がなくなつてしまふ。

かう考へると、給仕を使ふこともなか／＼骨で、結局、親切に導き敎へて行くより外に途がないことになる。

今週番組

喜樂館（廿七日より）▲ローマフイルム作品ムッソリーニ賞映畫『リビヤ白騎隊』▲日活東京作品岡譲二、原節子主演『檢事とその妹』▲日活京都作品高[illegible]賀乘、鳥羽陽之助主演『極樂花嫁聟』

若草劇場（廿五日だけ）▲ニユー・ユニヴアーサル作品デイアナ・ダアビン、レオポルド・ストコフスキー主演『オーケストラの少女』入場料一圓

若草劇場（廿六日より）▲廿世紀フオックス作品ディック・パウエル、マデレーン・キャロル、アイス・フエイ主演『陽氣な街』▲東京發聲作品藤井貢、逢初夢子、市川春代、栗島すみ子特別出演『泣きむし小僧』

黄金座（廿七日より）▲日活多摩川作品星美千子、廣瀨佐智子主演『梅ちゃんの千人針』▲日活京都作品片岡千惠藏、澤村國太郎主演『無法者銀平』▲アトラクションCMCジャズ・シングショー

中央館（廿七日より）▲極東作品雲井龍之助主演『髑髏の巣』後篇▲大都作品華ヒデト主演『深夜の熱風』▲ユニヴアーサル作品『大金鑛』後篇

明治座（廿八日より）▲MGM社作品ローランド・ヤング、コンスタンス・ベネツト、ケリー・グランド主演『天國漫步』▲松竹大船作品夏川大二郎、佐野周二、川崎弘子主演『新しき道』

學藝だより

◇劍聖宮本武藏展 廿三日より廿九日まで京城三中井六階ギヤラリー

間奏樂

『筆川列車』に特別出演のため來城中の東寶スタア佐々木信子にはあこがれ時代の女學生ファンが多く、當時の朝鮮ホテルにも洋裝子などをさげたセーラー服の面會が毎日ある——ところでその信ちやんに妓生觀をたゝいてみると『藝妓さんとは全然ちがふし、すぐにお友だちになれさうだし——さうね、一口にいへば女學生のやうな感じ』（寫眞は佐々木信子）

今晩のラヂオ

六時幼兒童話オハナシ（東）東京童話クラブ▲六時二五分イタリー訪日使節團歡迎放送（東）挨拶衆議院議長小山松壽▲七時三〇分國民歌謠（東）遠藤クニ子▲七時四〇分講演（東）經濟尚道宣二郎▲八時室內樂（大）大阪放送四重奏團▲八時三〇分浪花節（京城）廣澤菊一文字▲八時五五分義太夫（大）竹本文字太夫

國定忠次

（221）

長谷川伸作　岩田專太郎畫

五目牛（七）

『[illegible]どうしてそれを知つてゐる』

『安五郎に聞きました』

『安にか。ふうン――あいつ、どうしたか、評判がまるでねえ』

『今年の正月、信州の川中島で會ひました』

『[illegible]だつたか。さうか――しあいつもやがてここへ歸つてくる男だ』

『親分。三左衛門の事ですが、親分は三左衛門が息を引取つたとき、斬合ひをした相手だのに、手厚く葬つてやつたさうですね。安五郎がさう云つてました。親分は今に蛇と三左衛門の敵を討つだらうと、あツしもさう思ひました。親分だもの蛇とさうだと』

忠次は默つて首肯くともなく首肯いた。さう思つたことも確だが、忘れてゐたことも確である。[illegible]は、

『あツしが今度、こつちの方へ來たといふのは、風次郎どこへでも飛んで歩く身じやありますが、一ッ、目貨がありまして』と、い、のが親分、三左衛門のいつた敵の野郎が、この上州にゐるに違えねえと、安五郎がいひましたんで、それでやつて來たのです』

『さうか。だが[illegible]、安がそれを知つてゐるなら、自分も來さうなものだ』

『へえ』

『何でえ[illegible]、下なんか向いて』

『云つてしまひませう。親分はきつと、安五郎もここへ歸つてきさうな男だと』

『云つた』

『歸つてきません』

『どうして。安に[illegible]つてゐるのか』

『いいえ、安五郎は信州で女房をもつて、子が、出來ましてね、もう二人あります。堅氣になつてゐます』

『安が、さうか。さうあそれに[illegible]て話だ』

と、いつたものの忠次に、[illegible]たる眼をして、[illegible]を眺めた。のぼる朝の日ではなくして入る日の光りの弱さのやうに忠次は淋ッ暗いものを何となく感じてゐる。

話を聞いて默つてゐた[illegible]が、

『からから[illegible]。その敵つて奴を早く探せ。親分の手を借りるまでもねえ、おらがやらう』

『さうだ、[illegible]。それでは俺とお前とでやらう』

『面白えことになつて來た。[illegible]、それで敵は何處にゐる』

『これから探すんだ』

『探す？ 悠長な話だなあ』

その日から[illegible]は、國定にとどまつて、近郷へ出歩いて山本三次郎の敵を探しはじめた。容易にそれが判らない。

[illegible]に一點の[illegible]ひも持つてゐない。それに引代へ嘉久松は表には出さず、心の裏では絶えず[illegible]をかけて油斷しない。

と、忠次の女房でずッと國定にゐるお[illegible]が、

『嘉久松、ちよいと聞きたい事があるよ』

『へえ、何です姐御』

『[illegible]のことだけれどねえ、あの男は本當に親分の爲を思つてゐるのかねえ』

『思つてゐます』

『お前がさう思つてゐるなら安心だよ』

これと殆ど同じことを、忠次の妾で、田部井にこの頃住んでゐる町からいはれて、嘉久松は、

『[illegible]が怪しいなんて事はありませんよ』

と、答へた。五目牛村のお[illegible]も、お[illegible]とおなじことを嘉久松に、が、お[illegible]は簡單ではない。

『[illegible]が怪しくないなんて、どこへ眼をつけてゐるのさ。あれが怪しくなくつてどうするんだい』

『あッしには怪しくねえと見えますが、五目牛の姐御、怪しい證據がありますか』

『なくつて云ふものか、野郎この頃、[illegible]のこぶ留と仲良くしてゐるじやないか』

『それは知つてゐますが』

『こぶ留といふ奴は、知つてゐるんだよ親分のことをさ』

『何をです』

『天狗だよ、ほら、あの一件さ』

赤城籠りの食料に[illegible]り、忠次が天狗の面を冠つて賭場荒しをやつた。その事である。

『知つてゐるばかりか、この頃、喋べつて歩いてゐやがる。だから六狐の七[illegible]、兎の與志松、あんな野郎までが、忠次は天狗の面を冠つて盜ッ人もやるなんて陰でいつてるじやないか』

六狐の七[illegible]、兎の與志松、二人ともその昔は島村伊三郎の三下奴だつた者、今は一廉の威勢を振ふ親分だ。

どの道女性と生れて知らぬは苦しみ
婦人病の手當
有名病院も簡易に家庭でも使へる

帶下は不淨で附物でないその療法

避けられたいといふ觀念でゐながらも早く男性の様に、サバ〳〵の身になりたいといふ、生理的の來潮も泣々不自由を嘲つ位ですから、下り物を女性の附物と諦められるやうだつたら、自然の儘な腦神經病か、さもなくて此不快に堪へ得るのは一人とて無いのです。弱い肉體の不快から關連して家庭の不和、勤勞の妨害、結婚の障害と更進し、局所の異臭、下衣を汚染もする痰膿苦熱混濁が通過する様な下腹部痛、鋭利の物でヂリ〳〵抉くる様な灼きつく様な腰の違和、引痛みや冷えや痛い様な倦さ、骸根が生えた様に頭が重い、眩暈、鼓膜が破れたかと怪しむ耳鳴り、脚が固く石の様に凝る、此の苦痛劇痛は肉體を苛み痩せ細る苦痛を十倍ともして精神的も肉體的も、眼こそぎ苦獄へ女性を突込む婦人病であります。

ないからでありました。況して、下り物は皆一つ原因といふなら古い方法も治せたでせうが、ヴイタミンADや卵巣ホルモンに至るまで、原因的に婦人藥が配合を迫られて、原因を極めずと、素人も安心に治療をできるワセトン球といふ、婦人藥の進歩を見たのです。檢診して藥を原因的に選ぶ手數を省く本劑を、帝國大學病院、全國有名病院で使用するのも一劑で治療の足りる結果で、況して家庭の治療者はかうあれば全部が安全です。

から、神經（特に植物性神經）の異常的過敏、粘膜を亂惡し、最も婦人病の警戒を要する處は、腐敗を喰ふばかりでなく自らの舌で毒液の殺菌力を過りるといふ下等動物も本能として防備を持つ位、科學の保護下に在る人の世界ながら恵まぬ婦人病に虫づられるのは効果藥が婦人病に

一家の燈火である

一家を明るくするも貴婦夫人の和氣圓滿けあるのでして、不幸婦人病の冒す所ともなれば、心神を歪めずけ置かない治療在る事は好まない所以で、本劑の様な吸收よく殺菌、收斂は除の外進出の婦人藥に得る利益は一口で現はせない複雑です。

安心ある所に不幸無し

どうして婦人病が冒すかと穿鑿よりは最も簡單でベトつかぬ流れぬ様な治療劑を求めるのは、治療を家庭で爲すには猶更の希望です生兵法は怪我の因、を知りながら通俗醫書を繙くのは治療が思はしく捗らぬ爲からで、本劑の特色は、斯様の不幸をなくする爲迅速な病芯治療にありまして此處に安心があります

無理は道理が通さぬ

もどかしき藥の故に石や砂を噛むに似た迷信は昔は特に不妊症に行はれて、道理が通れば無理は影を潜めるなら、効目の婦人藥の無かつたによるのでありますが、迷信の類ひは知識人の眉を顰むにしか、も早役立たないといふ本劑の様に、道理正しき治療藥が、指導的役目を果しつゝあるからです。

甫めて藥といふ力に接して

新潟縣大湊村　小村掬代

拜啓御商店の皆々様には毎日御多忙の事と存じお察し申上ます、過日お忙しいにも拘らず早速と註文の品お送り下さいまして洵に有難う御座いましたつきましては餘りにワセトン球の効目の早いのには驚きの聲を發せずには居られません。私も殆ど全快致しましたが、念の爲と思ひもう十一球お送り願ひませうか、小爲替同封致して置きましたからお手數ながらお願ひ致します。

藥の意義を教へられて

東京市駒込　川上淨子

拜啓先日はワセトン球誠に有難くお禮申上ます。お蔭様にて大分氣分も宜敷く嬉しく存じます。誠に勝手ながら又十二日分をお送り下さいませ。先日四日に振替にて金壹圓參拾五錢送りました故當方至急お願ひ申上ます。

御註文はハガキ『何日分送れ』と總代理店東京市芝區通新町十六合名會社河原商店（振替の際は振替東京三五〇一九番）へお申込になれば代金引換郵便で急送する。要價は重症で毎日一球御使用になるとして僅か六日分七十錢、十二日分一圓二十錢、廿四日分二圓三十錢、卅六日分三圓四十錢送料は各十五錢。病院納入品は四十四日分十三圓も素人でも使へます。全國有名藥店、大百貨店藥品部にも有ります。お求めは家庭で素人も使へる『ワセトン球』と名ざせば安全、萬一品切れは直接お申込み下さい。本村仁博士御推薦の『女性の新生理學』ハガキで總代理店へ申込は無代進呈します。

効果卒直が語る

本劑ワセトン球が治療範圍を婦人病とする皆術のどれにも正しき効果の顯著であることは、學問的も實際的も能現はれ、研究的經費の犧牲に得た結果で、究段的に主成分を惜しみなく用ひ原因的婦人藥であるのを何より本劑の誇るに足る特長で、此事實は御婦人方へ偽りなき最も卒直な効果に見られるのであります。

皇紀二千五百九十八年 昭和十三年三月二十四日 京城日報 日刊 第一萬九百七號
京城日報
主婦之友 四月特大號
賞金四千四百圓 懸賞募集
詳細は四月號にあります
毛筆・ペン字兼用 婦人の手紙全集
吉屋信子先生著
全巻總二色刷・優に四五圓の値打
(毛筆かながき)比田井小琴先生書
(ペンくずし字)鷹見芝香先生書
婦人一生の手紙用語辭典
菊池寛先生著
(增補)手紙の文章讀本
久米正雄先生の大悲劇小説
吾亦紅
大熱狂小説
人肌觀音 小島政二郎
妻の場合 吉屋信子
結婚天氣圖 菊池寛
糾の蜘蛛 片岡鐵兵
胡椒息子 獅子文六
母 戀 吉川英治
春 園 横光利一
炎の薔薇 石川達三
大谷智子裏方の戰線慰問記
母も泣け人も泣け 凱旋の病院船に同乘した感激の記
櫻井肉彈少將を感激させた 白相少佐未亡人の血涙記
罪はいづれに?問題の女性 植村中將夫人の法廷哀話
看護婦となつて癩病の良人に仕へる教授夫人の哀話
三十代四十代の夫婦圓滿法
性病の夫婦の祕密療法
大阪の職業婦人の座談會
誘惑に泣かされた職業婦人の告白
花嫁の愛妻座談會
わらわし笑爆記
婦人の新商賣十五種の成功法
洗ひ張り湯のしクリーニングの講習
春の生花の生け方競技
年收千圓のバタリー式新養鷄法
物價騰貴對策相談會
これからの夫婦・これからの結婚
春の流行ブラウスの作方
春の家庭料理の特輯
防空完備の日本住宅
婦人愛國の歌
別刷附錄 四月の獻立家事カレンダー
別刷附錄 時局漫画繪本
別刷附錄 廢物利用 流行の家庭染色集
僅かの費用で手輕に染まる祕訣
三大附錄つき 七十錢(送料十四錢)
東京神田 主婦之友社

埃っぽい風に眼が逆上せ易い！

春先きは眼疾の書入れ時 外出にも御注意を

梅が咲き、桃の蕾がふくらんで春は日一日と温かさを増して參ります。暖房の窓にも春らしい陽差しが訪れ、行樂に、外出に、ハイキングに實に好適な季節です。然し一方、春の到來と共に、厄介な眼疾が流行して參ります。

實に春は眼病の書入れ時と言はれる位で、結膜炎にしても、トラホームにしても春先きに罹病する人が一番多く、また症状の增惡を來し易いのを常とします。

これは冬籠りの生活から解放されて、外出し勝ちになり、埃の多い風に吹かれ、眼に埃や病菌が附着するのが原因になるのです。

實際春先きの外出から歸ると、眼が埃っぽく、熱っぽい感じや眼脂が出て痒いやうな氣持がするものです。所謂のぼせ眼で綺麗に輕度の充血を見る場合も少くありません。

尤も眼疾の刺戟がこの程度で濟めば大したことはないのですが、眼質の惡い人や平常眼を酷使してゐる人は埃の刺戟から容易に、激しい急性結膜炎を起したり、從來さほどでもなかつた眼疾が急に增惡したりする例が少くないのです。

斯うなると眼脂は倍々多くなり充血の爲に眼が異常に逆上り、また光線が眩しくて、しきりに涙が出たりします。

勿論斯樣な眼疾はいつの季節でもありますが、春先きはそれが非常に多いのと、急激に增惡し易い點で御注意が肝要です。

從つて埃が眼に入つた時は努めて、眼を擦らないで上瞼をつまみ二三回よるはせて、出來るだけ多量の涙を出すとよいのですが、更に洗水で洗眼すると埃の除去に最も効果的です。一方對症的な手當としては、スマイルのやうな殺菌消炎作用の優れた眼科藥を點眼するのが、眼の保護上最も安心の出來る方法です。

スマイルは眼科藥として合理的な殺菌、消炎、鎭痛、消腫の各作用を兼備して居りますので、眼疾や光線の刺戟から起る眼内の炎症、例へば充血、のぼせ、涙眼、眩惑、不快感などを程よく解消せしめるのみでなく病原菌（KW氏菌）が侵入した場合でも、その強快な殺菌力によつて、疫病を制し、眼内を消毒して、眼のトラブルを未前に防禦します。勿論、結膜炎、角膜炎、トラホーム・眼精疲勞等に犯された場合の手當にも好適で、早く充血潤濁を去り、分泌物を制し、痛みや爛れを除き、眼中をサッパリさせ、治癒を促進する効果があります。

從つて春先きの外出、スポーツ、旅行、業務などには是非スマイルの一瓶を携行するのが、近代人の常識とされて居ります。都賀自動式點眼裝置のスマートな容器はさうした携行點眼に大層重寶なばかりでなく、簡單一滴づつ點眼が出來ますので、近代人のやうに眼を酷使し勝ちな人達に取つては、平常の有効な保眼工作が外出先でも容易に實行出來る譯です。

因に眼科藥スマイルの定價は二十五錢、四十五錢で全國藥店百貨店藥局部にあり。總代理店は東京市日本橋區本町、株式會社玉置商店（振替東京七二番）

シネマと眼

シネマの鑑賞が眼に取つて相當の酷擱であることは申す迄もありません。あの目眩しい場面と移動、明暗の交錯、畫面とタイトルの相互的關聯等は視神經を疲勞させ、時として充血眼病を起させます。然も近代人のシネマ鑑賞は多く、職場の餘暇に限られて居りますので視力の酷擱は必要以上に加重される譯です。

この意味で近來シネマ鑑賞に際して、眼科藥スマイルを携行される方が非常に多くなつたことは大體喜ぶべき傾向と言へませう。スマイルは視神經の疲勞を癒やし、眼内炎症を豫防する効果がありますので、シネマ鑑賞による眼の疲勞には眞に好適です。

常用日除け（藥店にあり）理研一號眼鏡

小學生の近視が最近非常に多い

近頃小學校の生徒で、近視眼鏡を使用するものが非常に增加して居ります。大學生の五一％に比べますと、少いやうですがそれが發育期の兒童であるだけに、その將來が思ひ遣られます。勿論これは體質的な關係もありますが、視覺の不注意から來るものも少いとは言へません。

○

例へば最近は子供雜誌や漫畫の挿繪が大變多く、之をつぎつぎに暗い部屋で讀みふける。而も中には印刷文字の不鮮明なものや、活字の小さ過ぎるのがあつて、兒童の視力を低下させてゐるやうです

また讀書の際の姿勢にも注意が行屆いてゐないやうです。讀書の場合はなるべく顎を引き、顔をまともに本に向けることが肝要です。眼と本の距離は三十センチ位が理想的——

不仕鱈な姿勢で本を讀むことは最も近視を增惡させる原因で殆くは度が進み、また近視性素質のものはスグ本物の近視になり勝ちです。

○

また照明に就いても勿論注意すべきで、暗すぎず、明る過ぎないやうにすべきです。いづれにしても運動を奬め、暗い部屋での讀書を避むやうにしたいもので、一方眼の疲勞に注意し、子供が眼を赤くしたり、眩しがつたりするやうでしたら、早速スマイルのやうな優れた眼科藥を點眼して、眼内の疲勞や炎症を除いてやることです。斯うして絶えず眼の健康に留意して置けば、近視や眼疾への罹病も自然と輕減される譯です。

勉強には北向の窓

試驗地獄に喘ぐ學生諸君の爲に、眼も疲れず能率の上る勉強法を傳授しませう。まづ諸君の机を北向きの窓の所へ持つて行き給へ、北窓は天氣の良しあしで、明るさに變化がないからです。光線は左の上から差すやうにし給へ、これは簡單なやうで効果的な勉強法で、眼も疲れず、神經の爲にもよい。

また一日一パイ机と本に嚙りついてゐるのは決して賞めた譯ではない。頭腦に餘裕がさしたら、輕い運動をし給へ。遠景の森、青空、さうした物を見るだけでも、眼の疲れを癒やし、心身を朗かにするのです。

徹夜の頑張りは害あつて益なしと知るべきです。こんな無理から第一に眼が疲かれる。心に余裕を持つてあせらず騒がず、勉強中にはスマイルを時々點眼して、眼の疲れを防ぎ、視力を明快にし給へ。きつとよい結果が生れる。

全部讀切
大傑作!!
小説・講談・實話
落語・映畫・漫畫
面白づくめ號
キング春の増刊
日本中の人氣を集めた『増刊キング』の面白さ!!
この傑作!この顔ぶれ!!大家新人顔を揃へて登場、雜誌界空前の大豪華陣!!
痛快滑稽 お市無鐵砲 長谷川伸
哀憐泣く若な人!! 小犬と結婚指環 加藤武雄
山窩捕物秘話 蜃氣樓の女王 三角寛
英傑コント集
秀吉と茸狩 太田黒克彦
わが子を縛る 土師清二
石田三成 村上浪六
皇軍慰問おもしろ大會
小島健三氏の大傑作 甲州戰嵐記
特別長篇讀切 純情一代男 紀國屋文左衛門 上山柑翁
校長先生の上京 益田甫
軍國調グラフ
悲恋妹の仇!! 友情念佛囃子 原巖
人間愛秘話 友を背負うて 谷崎精二
男子の本懐!! 戰火に結ぶ 邦枝完二
恋と女の友情 若き日の道草 濱本浩
下僕恋の懸合 町人無刀流 角田喜久雄
現金三千円贈呈 犯人探し
大探偵小説 昆虫蝴男爵 大下宇陀兒
小説講談名場面畫譜
受難の夫婦愛 新妻と秘密 淺原六朗
天晴れ勇み肌 仇討木遣音頭 土師清二
純情父子悲曲 誰の負債 竹田敏彦
悲恋劍戟物語 相喚ぶ碁敵 目黒麥男
落語 粗忽の轉宅 柳家權太樓
落語 お札泥棒 柳家花樓馬樂
感激した話泣かされた話(三名家)
新婚の危機!! 二つの愛 横山美智子
欧米犯罪探偵 二大實話
七十万円の身代金狂奏曲 德富寛
二十億円の國際詐欺師 大江専一
伊呂波骨牌 湊邦三
白蠟少年 横溝正史
雪雲の平太郎 島藝夫
魚葉牡丹 本田美禅
鬼坊主佐渡破り 一龍齋貞玉
墳墓に捧ぐ 山岡莊八
愛の死の谷 清水暉吉
長脇差供養 久我荘多郎
青い眼白い眼 近江帆三
特ダネ公開
定價七十錢 送料十錢
東京・小石川 大日本雄辯會講談社

見果てぬ青春 (68)

川口松太郎作　志村立美繪

【無断上演映画化】

母なれば（四）

それでもまだ明男の高等學校入學までは一年ある。

『あと一年あるんだから、それまでに少しづゝ教へて、マヽに覺悟をきめて置いて貰つた方が好いと思ふんだよ』

敎へ深い明男は、今の内から準備をしようといふのだつた。啓子は、マヽだけに醫者をやめさせようといふのだが明男は、全くこの商賣を止めて貰ひたいと思つてゐる。

『何でもない事なんだ。女は結婚さへしちまへばそれで萬事がオーケーになつてしまふんだから。最後には逃げ場所がある』

『あたし、結婚なんかしないよ』

『止しなよ、そんな紋切型な事を云ふのは。姉さんらしくもない』

『だつて本當にしないんだもの』

『する、しないは問題ぢやないんだよ、女の人全體の心の奥には、もしいけなかつたら結婚すると云ふ切札が出來てゐるんだ、食ふに困つたら相手を見つけて結婚すれ

いや、あんまり抗ふとうるさいから、姉さんは別格にしといて上げよう』

『生意氣云つてらア、中學生のくせに……』

『そこへ行くと、男はどうしたつて食つて行かなくつちやならない。まごくしてゐると、生活が追ひついて來る、一日だつて生活を考へないでは生きて行かれないんだから、將來の希望だとか何だとか云ふより、先づ食ふ道を考へると云ふ氣になるんだよ』

『そんな氣になつてゐるかね』

『なるのが當り前だよ』

『當節の中學生なんてものは、へンにちゝむさい考へをしてゐるんだなあ』

さう云ふ啓子の顏はまるで男のやうだつた

ける君ちやアないよ』

『よんどころなければ仕樣がないぢやないか、學校にも行かれず、さりとて醫者屋にぼんやり遊んでゐるわけにも行かないもの』

『一體、君は、將來どうなるつもりなの、どう云ふ道に進みたいと思つてゐるの』

啓子は弟を、君と呼んで、友達扱ひにしてゐた。

『希望はあつても遂げられさうもないから斷念めてゐるさ』

『斷念める必要はないぢやないか希望する方針に從つて勇敢に行けば好いんだ』

『さうはいかない。女と違つて、男は生活を考へなくつちやならないんだから』

『女だつて生活はちやアんと考へるわよ、今どき、生活を思はない女なんてゐるもんか』

『でも考へ方が違ふんだ』

『どう違ふのさ』

『女はね、』

云ひかけて、

『止さうよ、姉さんはすぐ怒るからな』

『まあ、いやなひと。半分ものを云ひかけて止したりなんかして……云はないと、もつと怒るわよ、云ひなさいよ』

『ない事はないわ』

潛在意識があるんではないんだが、まあ、好

京日特選棋譜 (6)

八段　高部道平
五段　小澤正了（二子先番）

白四十八以下五十八迄

時價百萬圓　覆面道人

續行追撃戰

本日の場面も昨日に續いて白が追撃戰である。即ち昨日の白四十八黑四十九は、どう見ても黑が追はれてゐる。そして本日の白五十以下黑五十七までも、白五十の方は宛ら伏兵の形で、黑を追撃してゐる。

好着一點

處で黑四十九の一手には、其左の白一手に何事か綻望といふ反撥性あり、白も油斷の出來ない一入二役だ。また黑五十五も鬱屈で好い手だ。といふのは、黑五十五を五十一の下だと、次に白が五十の右方一間飛びた、黑は五十四の眞下、白は五十四の右方一間飛び、となる推移が、上面の黑へ「惡影響」のところ、それを黑が避けた總體好着。

買收を免がる

次が本日の總決白五十八だが、白五十八を假令ば（い）だと、次に黑から五十八と白五十六以下を追はれる、追撃戰のお株は黑が大捷で、能長ともなる「買收」殊に黑先黑が五十八だと、黑地は下に三線あつて、黑地大皆である當面唯一無二の彼我爭點の所……を白が先據したのであつて、白五十八は時價百萬弗

一等景品あり

更に白五十八には、次に示す參考圖の白一以下三と黑地滅の希望が見られる。その希望黑地滅は、黑地六目位。ただ參考圖の白一に黑二を一のすぐ右だと、要するに二と白に切られて、好結果は白。以上が本日の終りだが、何時黑から（ろ）でも、白は（は）と一等景品を添えておく

ラヂオ

廿四日（木）

朝の部

第一放送

午前六・五五　ニュース
七・〇一（東）基礎英語講座
七・三〇（東）朝の修養
七・五一（東）ラヂオ體操
八・一〇（城）天氣見込
九・五五（東）衞生メモ
一〇・三〇（大）家庭講座　炎の原因とその治療　醫學博士　王子　喜一
一一・〇〇（京）彼岸會法要＝京都市臨濟宗相國寺派大本山相國寺法堂より中繼＝彼岸會精靈法要並に支那事變戰病死者追悼會　導師　管長　大僧正　山崎　大耕　維那　樋口　陵堂　外一山僧衆總出仕

晝の部

正午（東）時報　日用品値段・鮮魚卸値段
午後〇・〇五（東）佛敎音樂　合唱　佛敎音樂協會聖歌隊　指揮　藤井　清水
ソプラノ獨唱　奧田智重子
ピアノ伴奏　渡邊　千世
女聲二重唱　ソプラノ　奧田智重子　アルト　星　けい子
一、混聲四部合唱
（イ）彼岸のつどひ
（ロ）釋迦牟尼世尊
二、女聲二重唱・二部合唱
みほとけの
三、ソプラノ獨唱
（イ）合掌
（ロ）御佛われと共に
（ハ）目ざめ
四、混聲四部合唱
（イ）天下和順頌（大無量壽經下卷より）
（ロ）人の身
〇・三〇　ニュース
一・一五　花嫁講座（朝鮮語放送）
宗務管理（三）宋　今　璇
二・三〇（東）婦人の時間　研究室から　理學博士　辻村みちよ
四・〇〇　ニュース（氣象通報・釜山・清津）穀菜相場

夜の部

六・〇〇（大）童謠劇「笑ひ聲」　大阪童謠劇研究會　BKコドモ唱歌隊　大阪ラヂオオーケストラ
六・二〇（東）コドモの新聞　村岡　花子
六・二五（城）講演赤總會の趣旨　陸軍步兵中佐　花田仲之助
六・五五（東）カレントトピックス
七・〇〇　ニュース・天氣見込
七・三〇（東）國民歌謠
一、牡蠣の殼　二、春の唄
獨唱　遠藤　喬　通子
伴奏　東京放送管絃樂團
七・四〇（城）講演　金阮堂と清朝文化の移入
八・〇〇（東）名曲ファンタジー　城大敎授・文學博士　藤塚　鄰
「田園交響曲」「松島十里」作　演出　JOAK文藝部　長岡　輝子・他
管絃樂（レコード）ウイーン・フイルハーモニー交響樂團　指揮　ブルーノ・ウルター
八・三〇（東）三曲と箏曲
一、八島　箏　筝久　雪子　三絃　加藤　柔子　同　稻垣武良子　尺八　津田　南畠
二、六段・相生の曲　合奏曲　相生　箏　藍久　雪子　六段　箏　加藤　柔子　三絃　稻垣武良子
八・五〇（東）講談　小澤鐵之丞の忠節　神田　伯治
九・三〇（東）時報・ニュース・ニュース解說・氣象通報・翌日の番組
一〇・〇五（城）ロシア語ニュース
一〇・一〇（城）地方へのニュース・銃後美談
一〇・四五（東）支那語ニュース
一〇・五五（東）英語ニュース

第二放送

午後〇・〇五　レコード音樂

講演　金阮堂と清朝文化の移入

【後七時四十分・京城より全國中繼】

城大敎授文學博士　藤塚　鄰

金阮堂は名を正喜といひ字は元春秋史と號し、後阮堂と號しました慶州の名族で書敬の長男、今から百五十三年前、正祖十年（天明六年）六月三日に生れました二十四歳の時、父に隨つて北京に赴き當時の老大家翁方綱や阮元の非常な知遇を受け、海東第一の天才と讃賞され、移しき文化的收穫を齎齎して歸國致しました。

一體李朝五百年の學問は全く朱子學に限られ、無論立派なところも發揮致しましたが永い間には其の弊害も却々多く、はては固陋固陋に陷つて一向進步發展を見ないやうになりましたので、阮堂は敢然として清朝經學を移入し將來の迷夢を覺醒し、生々潑々たる學問的新空氣を溌らさうと努力したのであります。そこで阮堂は朝鮮の一角に居ながら絕えず清朝の有名な學者達と學縁を保持し書籍や金石書畫など年々驚く程多數を贈つて貰つて之が研究に沒頭致しました。其の學蹟は廣汎で經史詩文諸子金石碑當、一つとして其の堂奥に達しないものはありません。いづれも清朝風の科學的研究法に基づいて數百年來固定の陋風を一洗した大功は正しく李朝の第一人者であります。そして阮堂は特に日本の文化にも多大の關心を持ちまして日本の著しき學術進步に驚歎の眼をみはり援つて朝鮮士人に夜郎自大の夢を破るべく警戒を與へて居ります

日本と清朝の間に介在して朝鮮の學問的に進みゆくべき指路に心を碎いた達人阮堂の阮堂を思ふ時、私は無限の感慨に打たれざるを得ないのであります。阮堂は哲宗七年（安政三年）十月十日今を距る八十三年前七十一歳で歿しました

童謠劇　笑ひ聲

【後6時】

テキスト38ページ

大阪童謠劇研究會　BKコドモ唱歌隊　大阪ラヂオオーケストラ

今日は洋一君の誕生日です。お母さんがお祝ひに赤い御飯をたいていろんな御馳走をして下さるといふので、洋一君も、それから兄さんの鐵一君も晩御飯になるのを樂しみに待つてゐます。夜になつてお父さんが二人へお土産を買つてお歸りになりました。それから樂しい食事が始まりました。お祝ひの赤い御飯や御馳走を食べながら鐵一君と洋一君とは今日學校で頂いて來た作文やお習字をお父さんにお見せしました。洋一君の作文を讀んで、お父さんは噴き出しておしまひになりました。さあどんな作文だつたのでせう？

婦人の時間　研究室から

【後2,30】

理學博士　辻村みちよ

研究のもつ興味はある點に於て探山探鑛のそれにも似る。實行にとかく困難が伴ふ。その間に處する心持について氣づいた二三を述べる

一、たえざる心
仕事がはかどらぬ少し位なまけても目だたない、その時私はだからなまけてはいかぬと思ふのである

一、取あつかふ物をよく觀察理解すること
不斷の心を以て取あつかふ物をよく觀察理解する前に其物に對しての處置が生れて來るのである

一、適當の處置
其物に對して最も適當なる處置を考究して順序よく實行する。

一、眞實のものをつかむこと
取出した物が本當のものでないとそこから出發した仕事には絕えず誤りがつきまとふ

此等の心持を、御家庭でいろく敎へて居られるのと比較して頂きたい。人が家をもち、子女を敎養する。やはり一種の開鑛に似た所がある

『鑛かゐかしらねど希つはつちぎり』

とかい様に

しかも二十年計畫の大研究、且やりなほしの出來ぬ研究である。しかして其結果には、家、國の浮沈が懸つてゐる。

家庭の中心となれる方々に對して切に御自重・御研究を望む。

講談　小澤鐵之丞の忠節

【後8,50】

神田伯治

徳川五代將軍綱吉の寵臣柳澤美濃守吉保は井伊掃部頭直澄を亡きものにせんと謀り旗本小澤帶刀の四男金吾に掃部頭狙擊を頼む。かねて柳澤に恩惠ある金吾はその該身を放埒にもちくづし父帶刀より勘當受け暫に白鞘の普請をなし名も金五郎と改め井伊掃部仲間部屋に出入して直澄をつけ狙ふ、一度は打そんじたるが正月二十四日二代將軍秀忠の命日掃部頭將軍綱吉の代參として芝增上寺台德院殿御靈廟へ參詣なすと聞き前夜より金五郎は御靈廟に忍び込み直澄來たれ遁しと待ち受ける二十四日早朝掃部頭、淺田信一郎小澤鐵之丞の兩人を供に御廟に至らんとする此時白菊金五郎短銃を振り直澄にせまらんとする、スワ御殿の大事と鐵之丞金五郎に組みつき右の腕頭をつかれ重傷を負びながらも金五郎の左の腕にガバと喰ひつきなかくはなれずそのうち大勢の家臣馳せ付け金五郎を召捕る、その夜掃部頭は鐵之丞重體と聞きその家に見舞ひ夜今日のはたらき三十五萬石、江戶、國かけての忠義の柱石なりと賞讃す。鐵之丞は只一人の曲者捕へもならずかゝる不覺をとりし事を詫び今生の御名殘り養經弓流しの舞御覽に備へたくと重傷の身にてよろぼひながら立ち上る直澄は弓矢にうるむ瞳はりあげ智者は惑はず勇者は恐れずと弓流しの謡をうたふ重傷にたへかね鐵之丞はドウと倒れた、直澄「我師」に鐵之丞を抱き上げ介抱なせしが鐵之丞はさも嬉しげにニッコリと笑をたゝへて絕命した

あすのきゝもの

廿五日（金）

午前一一・二五　入學試驗合格者發表（釜山）釜山女高普
午後〇・〇五（大）和洋合奏
四・〇〇　ニュースに引續き入學試驗合格者發表（京城）京城醫專　同（釜山）釜山公立職業學校
六・〇〇　お話（京城）
六・〇〇　唱歌劇（釜山）
六・〇〇　ハーモニカとギター獨奏（平壤）
六・〇〇　ハーモニカ合奏と絃方朗詠（清津）
七・四〇（東）立體物語
八・〇〇（東）吹奏樂　海軍軍樂隊
八・三〇（大）浪花節　天光軒滿月
一・一五　花嫁講座　宋　今　璇
六・〇〇　獨唱とヴァイオリン　李　相　鎬他
六・三〇　經典解說　沈　明　燮
七・四〇　講演　金　斗　壹
八・〇〇　歌詞　金　蕙　紅
八・三〇（東）和洋合奏
八・五〇　ラヂオドラマ　聲友會